



農園が結んだ、仲間と地域住民の絆

山梨県甲府市 千塚地区老人クラブ連合会
クラブ数・6 会員数・826名(男性・330名・女性・496名)

クラブ農園事業に着手

私たちのクラブは、甲府市の北西に位置する千塚地区の高齢者で構成されています。地名の千塚は、その名のとおりに加那那塚をはじめとした、たくさんの塚(古墳)があることで付けられたと言われます。

私は、平成19年4月に千塚地区老人クラブ連合会の会長に就任しましたが、年々会員が減少する中で、高齢者の元気を引き出し、地域にも貢献できるクラブとは何かと思索している時、会員から提案されたのが、地域に残る農地を活用し、高齢者の健康づくりと地域住民との交流に役立てるということでした。そして、遊休農地を借用して農園事業が始まりました。

500坪の農地をお借りしたのですが、花や野菜づくりに興味があるとはいえず、本格的な畑づくりなどの経験はない会員が多く、慣れない土づくり、種まき、草取り、水やりなどは苦労の連続でした。それだけに収穫を迎えた時の会員の喜びは格別で、それが自信とやる気につながったのです。自分たちにも出来るという自信を得た私たちは、収穫した作物の活用方法を考えま



幼稚園児と野菜の収穫



道路沿いの花植え

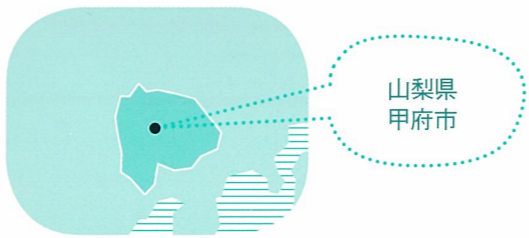
した。そして花や野菜づくりを通じての幼稚園児や小学校児童との交流と、「花いっぱい運動」へと発展していきました。

地域との交流に発展

今、農園は、地域との交流の核に育っています。春は玉葱、馬鈴薯、秋はさつまいもと大根を幼稚園児と会員と一緒に収穫して、子どもたちとの交流を深めることが恒



小学生と花の移植



山梨県
甲府市

地域づくりに、会員も増えた

なんとといってもこの活動の成果は、地域住民との絆が生まれたことではないでしょうか。地域のために役立つ野菜や花を育てると同じ目的で集まった会員同士は、自然に会話も生まれ、一体感が醸成されていきます。作業の合間の休憩時間な

り、春はマリーゴールド、秋はパンジーや葉ボタンを種から育て、それを児童とともに小学校の花壇に植え付けたり、地域の幼稚園や公共施設、道路沿線に植えて文字通り花いっぱい運動を展開し、地域から喜ばれています。活動が定着するにつれ、県や市などから花の苗や肥料の提供など様々な支援もただで、活動にもはずみがついて来ています。

どには、地域の人たちも加わって、農園がコミュニティの場になりました。

また、農園の交流で顔なじみになった地域の子どもたちが「お芋のおじいちゃん、おばあちゃん、こんにちは！」などと気軽に声を掛けてくれることが多くなったのです。このうれしさは格別です。幼稚園の園児たちが、クラブの集まりに来て歌や踊りを披露してくれるようにもなりました。老人クラブの活動が、子どもの健全育成や地域づくりにも大きな役割を果たしていることが認識されるにつれ、会員も増加しています。この活動がはじまって7年、230人だった地区老連の会員は、今や826人にまで増加しました。

今後も、農園活動を通じて仲良くなった子どもたちに「昔のあそび」を伝えたり、登下校時の見守りを強化したり、農作物を使ってサロンを充実したり、収益金を使って映画会を開催するなど、地域を豊かにして、高齢者にも喜んでもらえるような活動を展開していきたいと思っています。

(会長 山寺二三)